



写真：枯れ木の上のマダラクワガタ (撮影：令和3年5月28日)

「マダラクワガタ」

マダラクワガタ *Aesalus asiaticus* クワガタムシ科 マダラクワガタ属

日本最少のクワガタムシ

ハ イキングコース沿いを彩る花々にはチョウが蜜を求め訪れ、湖の上ではトンボが優雅に飛翔する姿が多くなってきました。昆虫たちが活発に活動する季節です。えびの高原から出発するコースは、植生の多様性が豊かで、多くの植物を見ることが出来ます。それは植物を食べる昆虫の多様性も豊かということでもあります。

森の中、歩を進めると、枯れてしまった木も多く見られます。枯れ木をじっくりと観察してみると、枯れ木と同じような色の昆虫を見つけました。マダラクワガタです。クワガタムシというと、黒くて大きなアゴを持つ夏の人気者のイメージですが、このクワガタは、体長わずか5mmほど。日本で一番小さなクワガタムシです。小さい上に、成虫になっても枯れ木の中からあまり出ないため、なかなか出会うことができません。見つけた時は、じっくり見てください。クワガタムシのシンボルのアゴが小さいながらもしっかりとついているのを見ることが出来ます。

(文)えびのエコミュージアムセンター